宝塚市立中央図書館聖光文庫展覧会

「水辺の老人」(伝:ダ・ヴィンチの姿)

レオナルド・ダ・ヴィンチ

「万能の天才」のデッサン

―英国・ウィンザー城王室図書館収蔵素描（図版）を公開―

『レオナルド・ダ・ヴィンチ素描集 第１輯 風景，植物及び水の習作』より、珠玉の７０作品を展示！

＊左から、「一茎のユリ」「風景の中に立つ女性」「王冠を戴く鷲」

2025（令和７）年

４月１９日（土）→５月２５日（日）

午前１０時―午後５時

【休室日：毎週水曜日・５月９日（金）】　《入場無料》

≪会場≫宝塚市立中央図書館聖光文庫

（阪急清荒神駅前）

〒665-0836 兵庫県宝塚市清荒神 1-2-18

TEL0797-84-6121

◇展示作品『レオナルド・ダ・ヴィンチ素描集 第1輯(しゅう)風景，植物及び水の習作』

《ファクシミリ（原本複製)》岩波書店刊 1985 年

本書では、数々の風景素描のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチが自ら観察した植物のスケッチ、および彼がエネルギー源の最大のものとみなした水の習作など、貴重な自然観察に基づくノートと素描を含むいわば自然研究の覚え書ともいうべき重要な部分が取り上げられています。

素描としてきわめて優れた手稿から、消えかかったレオナルドの筆跡や画像を赤外線によって捉え、執筆当時そのままの完全なすがたを、ファクシミリ版の作成に際し、確認いたしました。

人類史上稀有の天才として知られるレオナルドの科学者、芸術家としての全容が、この刊本によってはじめて明らかにされます。（付属解説より）

「アンボワーズ城館の遠望」

★ウィンザー・コレクション

「ウィンザー・コレクション」と知られるレオナルド・ダ・ヴィンチの手稿は、彼の弟子フランチェスコ・メルツィが師より遺贈されたものの一部で、16 世紀末、スペインの宮廷彫刻家ポンペオ・レオーニ卿が分類・整理されました。17 世紀になって、イギリス王家に献上され、ウィンザー城王室図書館に収蔵されたものといわれています。（付属解説より）

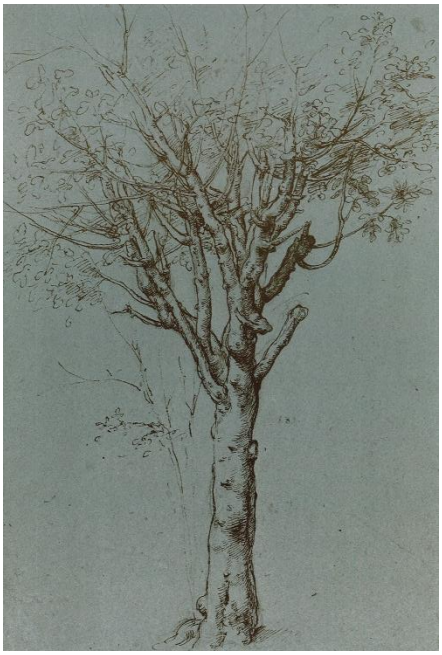
★レオナルド・ダ・ヴィンチ（1452-1519）と手稿

レオナルド・ダ・ヴィンチは、イタリア・ルネサンス期の画家、彫刻家、また科学者、技術者、哲学者。したがってルネサンスにおける典型的な「万能の人」（ウォーモ・ウニベルサーレ）と目されています。（『日本大百科全書』小学館刊より）

【手稿】

愛弟子メルツィ(1493-1570 ころ)に残された膨大な手稿のうち、きわめて多くが今日では散逸・紛失しました。最も大きいものに、「アトランティコ手稿」、貴重な素描(ノートを含む)のコレクションである「ウィンザー手稿」があり、このほか「解剖手稿」「マドリード手稿」「トリブルツィオ手稿」「絵画論」などがあります。

これらの、主として科学的な研究と省察を含む手稿の関心方向の広さとその集中の深さ、制作期間の長さは彼の生涯を通じて一貫していたものが、これらの「研究」そのものであったことを知らせています。（『世界大百科事典』平凡社刊より）



「樹木の習作」

＜通路側展示＞没後 150 年 ミレーの三大名画

（額装絵画（複製）：毎日学校美術館発行、1986～1989 年）

『晩 鐘』（1857-1859 年）・**『落穂拾い』**（1857 年）・**『羊飼いの少女』**（1864 年）